

長良川森林計画区

第五次国有林野施業実施計画書

計画期間 自 平成28年 4月 1日
至 平成33年 3月31日

林野庁中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間である。

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	4
(6)	保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	6
5	保護林の名称及び区域	7
6	レクリエーションの森の名称及び区域	8
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域等	10
8	その他必要な事項	10
(1)	施業指標林、試験地等	10
(2)	フィールドの提供	10
(3)	森林共同施業団地	10

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量
並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：h a、年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
単層型 (短期)	小面積分散伐区	274.40	育成単層林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	スギ 60 ヒノキ 75
	(長期) 長伐期	322.38	育成単層林施業	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	スギ 120 ヒノキ 150
複層型	人工林複層伐	78.12	育成複層林施業	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成(階層構造)する森林(一時的に単層状態になる場合も含む)。	スギ 80 [60] ヒノキ 95 [75]

(単位：h a、年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齡 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
択伐 複層型	人工林択伐複層型	93.08	育成複層林施業	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成(階層構造)する森林。	85 (35)
	天然林択伐複層型	143.87	天然生林施業		N 200 (35) L 180 (25)
合計		911.85			

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 () は回帰年である。

(3) 水源涵養^{かん}タイプの施業群別の上限伐採面積 (単位：h a)

施業群	上限伐採面積
小面積分散伐区	18.29
長伐期	10.74
複層型	8.87
択伐複層型	33.85

(注) 上限伐採面積は、計画期間(5年)分の面積である。

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分		林 地					林地 以外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 伐 採 時 量	計		
山 地 災 害 防 止 タ イ プ	土砂流出崩壊防備		(33.62) 5,843	5,843				
	気象害防備							
	計		(33.62) 5,843	5,843				
自然維持タイプ								
森林空間利用タイプ			(20.49) 1,670	1,670				
快適環境形成タイプ								
水 源 <small>かん</small> 涵 養 タ イ プ	小面積分散伐区	(16.42) 6,777	(16.47) 1,875	8,652				
	長 伐 期		(80.41) 8,873	8,873				
	人工林複層伐		(18.97) 1,432	1,432				
	人工林択伐複層型		(12.34) 1,080	1,080				
	計	(16.42) 6,777	(128.19) 13,260	20,037				
合 計		(16.42) 6,777	(182.30) 20,773	27,550	2,450	30,000	30,000	
年 平 均		(3.28) 1,355	(36.46) 4,155	5,510	490	6,000	6,000	

(注) 1 () 書きは伐採面積である。

2 年平均は、従来の年平均に当該変更計画による伐採量の増減量を残期間(年数)で除したものを加えて算出。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
岐阜市		158	158				
関 市		5,684	5,684				
美濃市		3,040	3,040				
山県市	2,911	9,836	12,747				
郡上市	3,866	2,055	5,921				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ [°]	自然維持 タイプ [°]	森林空間 利用タイプ [°]	快適環境 形成タイプ [°]	水源涵養 ^{かん} タイプ [°]	合 計
人工 造林	単層林造成					9.86	9.86
	複層林造成						
	計					9.86	9.86
天然 更新	天然下種第1類						
	天然下種第2類						
	計						
合 計						9.86	9.86

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 ^{かん} タイプ°	合 計
保	下 刈					36.08	36.08
	つる切						
育	除 伐	0.93		1.66		29.55	32.14

3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基 幹・ その他別	開設・ 改良別	路 線 名	林 班・箇 所	延 長	備 考
基 幹	改 良	川 浦	3103～3106		
			3155～3158	1箇所	20
		川 浦 (神 崎)	3161～3162	1箇所	20
		計		2箇所	40
その他	改 良	小 淵 谷	3158～3161	1箇所	20
		円 原	3154	1箇所	20
		鮎 立 中 山	4014～4017	2箇所	40
		中山谷 (二 日 町)	4019～4022	2箇所	40
		中 山 谷	4023～4024	1箇所	10
		中 山 曾 部 知	4018～4020	1箇所	10
		古 城 山	3139～3142		
			3145～3149	2箇所	300
計		10箇所	440		
合 計	開 設			—	
	改 良		12箇所	480	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
板取川最上流 1、美濃 1、神崎川 1、岐阜 1、 北濃 1、牛道川 1、吉田川下流 1、長良川最上流 2	保 全 施 設	溪 間 工	8
板取川最上流 1、長良川最上流 2、岐阜 1、神崎川 1、 北濃 1、牛道川 1、吉田川下流 1	保 全 施 設	山 腹 工	7
長良川計画区管内の保安林区域内	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	32.14
合 計	保 全 施 設	溪 間 工	8
		山 腹 工	7
	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	32.14

- (注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。
 2 位置は単位流域を表す。
 3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区画

ア 林木遺伝資源保存林

名 称	新 設 既 設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
名古屋 スギ3	既 設	9.34	4026い 4027い	当該地の固有な希少 品種である伏条性の強 いイボラスギの天然林 である。	原則として、伐採 は行わない。 ただし、保存対象 樹種の安定的な存続 を図るために必要な 場合は、枯損木、被 害木の除去を中心と した弱度の択伐を行 う。
名古屋 アラカシ・ ツブラジイ 4	既 設	10.81	3185ふとる	アラカシ、ツブラジ イが混成している都市 近郊林である。	
面 積 計		20.15			

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(1) 自然観察教育林

名称	既設・ 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
金華山	既 設	187.06	3183ろ~ほ 3184ろ~に 3185は~ほ・ち~ぬ 3186ろほへ ----- 3180い~は 3181い 3182い~に 3183いへ 3184い 3185いへ 3186いはに 3187い ----- 3180イ 3182イ 3183イ	岐阜市にそびえる急峻な独立した山塊で、山頂の岐阜城からは、遠く伊勢湾を望むことが出来る。 シイ、カシ等の照葉樹林の中に、ヒノキ、マツ等の常緑針葉樹が混生し、昆虫、野鳥の宝庫でもあり、自然観察、散策等に適している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・金華山ロープウェイ (民間) ・歩道 (岐阜市) ・食堂他 (岐阜市・民間) ・園地 (国・岐阜市)		
面積計		187.06						

(2) 風景林

名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
大日岳	既 設	105.41	4001い 4002い 4010は ----- 4002イ 4003イ 4004イ 4005イ 4010イ	奥長良川県立自然公園内にあり、ブナ、ミズナラ等からなる天然林は、大日ケ岳への登山道、白山への縦走路の近景林として適している。	天然生 林施業 ----- 林地以 外	・ 歩道 (郡上市)		
東殿山	既 設	45.15	4034ろ 4035いはに 4036いろ ----- 4034い 4035ろ	奥長良川県立自然公園内にあり、木曾ヒノキ、コウヤマキ、ヒメコマツ等の天然林と、切り立った地形が優れた景観を呈しており、郡上市八幡町市街地の背景林として適している。	育成複 層林施 業 ----- 天然生 林施業	・ 歩道 (郡上市)		
古城山	既 設	71.58	3139わ 3140ろとぬるわ 3141いるわ 3142いろ 3147ほる 3148はりるわ 3149と ----- 3140いちり ----- 3142イ	スギ・ヒノキ人工林とアカマツ天然林からなり、美濃市から望見される遠景林であり、登山、ハイキングの場としても適している。	育成複 層林施 業 ----- 天然生 林施業 ----- 林地以 外	・ 歩道 (美濃市) ・ 園地 (美濃市)		
面 積 計		222.14						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域等
該当無し

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等
該当無し

(2) フィールドの提供
該当無し

(3) 森林共同施業団地
該当無し